

中央大学保健体育研究所研究活動報告

2025年4月1日～2026年3月31日

授業研究班

主 査 市場俊之

研 究 員 青木清隆, 中谷康司

客員研究員 森 正明, 北 徹朗

1. 研究概要

授業研究班は、当研究所の開設以来大学授業を対象に「授業効果に関する研究」、「FDの視点からの授業評価」「反転授業を導入した授業展開の事例」など多面的、多角的な視点から授業分析を試みている。大学の自己点検・自己評価が義務化され「教育」「研究」の両面からも「授業」を対象にした研究を今後も継続していく。

2. 研究活動報告

■第17回大学体育指導者養成研修会

日 時：2026年3月4日～6日

場 所：大阪大学豊中キャンパス

内 容：基調講演「多文化社会ドイツの現在－課題と展望－」進藤修一（大阪大学副学長，全学教育推進機構長）ならびに特別講演「健康スポーツ科学教育を基軸としたシステムズアプローチによる健康社会の創造」七五三木聡（大阪大学教授）を聴講した。

参加者：市場俊之

■研究成果

「ICT (Information and Communication Technology)」の使用，特にスポーツ活動現場では動画の利用が拡大している。そのプラス面が主張される一方で，マイナス面が取り沙汰される。ICT使用の実例を基に，ICT使用の「功罪」の検討を今後の課題のひとつとする。この方針に則り，下記が「保健体育研究所紀要」第44号において公表予定である。

「クラブ挙動データを用いたゴルフ授業の実践事例（実践研究）」〔執筆者：北徹朗〕